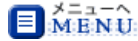




長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

学期	前期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009037	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (P2)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	P2		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィサー	火3 水3 木3		
授業のねらい	このクラスは、医学・薬学・健康・食品関係の英文テキストを読みながら、リーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたリーディング用のテキストで、大意を取る練習をするとともに、細かな部分はプリントを利用したテスト形式で読み進めます。家庭での精読を課題として行ってもらいます。またコミュニケーション用のテキストを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。そして、このを利用して、専門語彙修得も図ります。そして、e-learning 教材を授業中行なうとともに、多くの部分は範囲を指定して、授業外学習してもらいます。		
授業到達目標	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words および Words and Phrases 約400語を確実に修得します。 また、コミュニケーションのテキストのダイアログパターン45をリピーティングできるようにし、実際に使えるようにします。 e-learning 教材パワーワーズレベル4の90%を修得します。		
	<p>授業の最初は、英語コミュニケーションのテキストのダイアログパターン45の練習そして録音活動からはじめます。家庭学習で指定されたダイアログパターンをしっかりと練習していただくことが大切です。家庭で必ずテキストについているCDを使いながら練習してください。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでも、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。細かな部分の内容の理解は、テスト形式のプリントを用いて、演習形式で行います。</p> <p>また、プリントと英語コミュニケーションのテキストCDを用いて専門分野の英単語の修得も行いません。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習として、その進捗度も評価に加えます。担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		
	回	内容	
	1	オリエンテーション Unit 1. Huge Ocean Tuna Farm 英コミ ダイアログ 1.2.3 e-learning Power Pords Level 4 Unit.1	
		Unit 2. Overweight Cross-Eyed Opossum	

授業内容	2	専門英語語彙 (1) 英コミ ダイアローグ 4.5.6 e-learning Power Pords Level 4 Unit.2~4
	3	Unit 3. Dutch Ban on Eel Fishing 英コミ ダイアローグ 7.8.9. 専門英語語彙 (2) e-learning Power Pords Level 4 Unit.5~8
	4	Unit 4. Fat Nightclub 専門英語語彙 (3) e-learning Power Pords Level 4 Unit.9~12 英コミ ダイアローグ 10.11.12
	5	Unit 5. Next Healthy Superfood 専門英語語彙 (4) e-learning Power Pords Level 4 Unit.13~16 英コミ ダイアローグ 13,14,15,
	6	Unit 6. Commuting by Bike 専門英語語彙 (5) e-learning Power Pords Level 4 Unit.17~20 英コミ ダイアローグ 16,17,18,
	7	Unit 7. Selling Bottled Water Illegal 専門英語語彙 (6) e-learning Power Pords Level 4 Unit.21~24 英コミ ダイアローグ 19,20,21,
	8	Unit 8. Swine Flue Shots 専門英語語彙 (7) e-learning Power Pords Level 4 Unit.25~28 英コミ ダイアローグ 22,23,24,
	9	Unit 9. Asian Obesity 専門英語語彙 (8) e-learning Power Pords Level 4 Unit.29~32 英コミ ダイアローグ 25,26,27,
	10	Unit 11. Black-Eyed Peas 専門英語語彙 (9) e-learning Power Pords Level 4 Unit.33~36 英コミ ダイアローグ 28,29,30,
	11	Unit 12. Battling Diabetes, Cancer 専門英語語彙 (10) e-learning Power Pords Level 4 Unit.37~40 英コミ ダイアローグ 31,32,33,
	12	Unit 13. Dengue Fever 専門英語語彙 (11) e-learning Power Pords Level 4 Unit.41~43 英コミ ダイアローグ 34,35,36
	13	G-TELP 試験 英コミ ダイアローグ 37,38,39
	14	Unit 14. Breakthrough Can Save Cancer-Devastated Tasmanian Devils 専門英語語彙 (12) e-learning Power Pords Level 4 Unit.44~47 英コミ ダイアローグ 40,41,42
	15	Unit 15. Chess Boxing 専門英語語彙 (13) e-learning Power Pords Level 4 Unit.48~50 英コミ ダイアローグ 43,44,45
	16	定期試験
	キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): The Picture of Health(南雲堂) 1,530円 『英語コミュニケーション教本』1,620円  (上記2冊の教科書を生協で購入して、授業に参加してください) 教材 : プリント教材 必要に応じて毎回配布します。	
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20% 授業中の発表(小テスト含む)10%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		

備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009001	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (F2)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]301		
対象学生(クラス等)	水産(F2)		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	Emailにより受け付ける		
授業のねらい	テキストを用いながらリーディング力を培う。具体的には、トピックセンテンスを中心としたパラグラフ・リーディングと語彙や文構造に着目する精読の二通りのリーディング力を育成する。また、基礎的なリスニング力を養成する。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、自然なスピードで短い会話を聞き、質問に回答するリスニングテストを行う。後半では、テキストを要約あるいは精読するが、前もって学生を指名しておき発表してもらい、その後、質問等によりリーディングの指導を行う。		
授業到達目標	リーディングでは、目的や場面に応じて、速読と精読を使い分けられるようになる。リスニングでは、基礎的なリスニング力と基本的な表現を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction (Sample test)	
	2	Chapter 1 Archimedes--the First Streaker	
	3	Chapter 2 A Sick Indian Discovers Quinine	
	4	Chapter 4 Vaccination--Edward Jenner, a Milkmaid, and Smallpox	
	5	Chapter 5 Nitrous Oxide and Ether as Anesthetics	
	6	Chapter 7 How to Succeed in Archaeology Without Really Trying "Things That Just Turned UP"	
	7	Chapter 8 Some Astronomical Serendipities "The Big Bang" "Pulsars" "Pluto's Moon"	
	8	Chapter 7 'Til Death Us Do Apart? Marriage and Divorce in the 21st Century	
	9	Chapter 9 Accidental Medical Discoveries "Insulin" "The Pill" "LSD"	
	10	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Velcro: From Cockleburs to Spaceships"	
	11	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Ivory Soap"	
	12	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Corn and Wheat Flakes"	
	13	G-TELP	
	14	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Post-its" "Scotchgard"	
	15	まとめ	
16	定期試験		

キーワード	reading, academic writing, science
教科書・教材・参考書	Royston M. Roberts, Serendipity: Accidental Discoveries in Science, 松柏社, 1575円(税込)
成績評価の方法・基準等	リスニングテストの平均点(20%)、G-TELP(20%)、授業時の発表(10%)、定期試験(50%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	基礎的なリーディング力及びリスニング力を養う。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に臨むこと。



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009002	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (F3)		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]323		
対象学生(クラス等)	F3		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間:月曜日5限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業のねらい	英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成します。		
授業方法(学習指導法)	この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、リスニングについては1か月に1回程度、語彙については毎週、小テストを実施します。1週間に2、3回の自習が必要です。		
授業到達目標	各単語を逐一聞き取ろうとするのではなく、5語前後から成るフレーズに注目し、そのフレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、話者の言葉自体だけでなく、話されている場所、話者の立場、その場の状況など、あらゆる情報を総合して、話者の発話内容を理解できるようになること。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション、教材の選定テスト	
	2	教材の説明、学習方法の説明	
	3	小テスト、グループワーク	
	4	小テスト、グループワーク	
	5	小テスト、グループワーク	
	6	小テスト、グループワーク	
	7	小テスト、グループワーク	
	8	小テスト、発表	
	9	小テスト、グループワーク	
	10	小テスト、グループワーク	
	11	小テスト、グループワーク	
	12	小テスト、グループワーク	
	13	G-TELP実施	
	14	小テスト、グループワーク	
	15	小テスト、発表	
16	期末試験		

キーワード	
教科書・教材・参考書	Listen to Me! シリーズの教材
成績評価の方法・基準等	期末テスト、小テスト、学習態度を、おおよそ以下の比率で総合的に評価する。 期末テスト:20% 小テスト:20% 自習状況を含む学習態度:40% G-TELP:20%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009018	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (F1)		
編集担当教員	井石 哲也		
授業担当教員名(科目責任者)	井石 哲也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井石 哲也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	F1		
担当教員Eメールアドレス	iseki@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-822-4107(内線257)		
担当教員オフィスマワー	活水女子大学 井石研究室にて要確認		
授業のねらい	英語資格試験(TOEIC)を念頭において、英語のリスニング能力および読解力の養成をおこなう。		
授業方法(学習指導法)	テキストを用いて、英語読解の練習問題を中心に、これを聞き取りに活用できるよう練習をおこなう。		
授業到達目標	TOEICスコア500点を達成できる英語力を目指す。		
授業内容	13回目の授業でG-TELP(共通テスト)を実施し、結果を評価の一部にあてるので、留意のこと。		
	回	内容	
	1	導入:テキストの使用法説明。英語辞書の使い方等。 以下、2回目以降の学習トピックを示す。	
	2	Everyday Life	
	3	Travel	
	4	Hotels	
	5	Job Hunting	
	6	Job Interview	
	7	At the Office	
	8	Company Information, Department Names	
	9	Job Titles and Responsibilities	
	10	Products and Services	
	11	Shopping	
	12	Meetings	
	13	G-TELPテスト実施	
	14	Business Performance	
	15	Review	
16	定期試験		
キーワード			



教科書・教材・参考書	TOEIC Test Training 500 Revised Edition(南雲堂, 2012)
成績評価の方法・基準等	定期試験60点、G-TELP(13回目の授業で実施)20点、授業における発表等、取り組み20点の配点とする。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009032	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (L3)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	L3		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
授業内容	回	内容	
	1	4月9日 第1回 オリエンテーション	
	2	4月16日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	3	4月23日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	4	5月7日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)	
	5	5月14日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)	
	6	5月21日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)	
	7	5月28日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)	
	8	6月4日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)	
		6月11日	

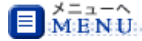
	9	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	6月18日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	6月25日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	7月2日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	7月9日 G-TELPテスト
	14	7月23日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6)
	15	7月24日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト Cultural Encounters(センテージ)	
成績評価の方法・基準等	G-TELP(20%)、小テスト(70%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは毎回行う。総合英語Iの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009003	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (E8)		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]124		
対象学生(クラス等)	E8		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間:火曜日4限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業のねらい	英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成します。		
授業方法(学習指導法)	この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、毎週、小テストを実施します。授業中は、小テストの他にグループワークを取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら運用能力の養成を図ります。		
授業到達目標	各単語を逐一聞き取ろうとするのではなく、5語前後から成るフレーズに注目し、そのフレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	教材の説明、学習方法の説明	
	3	小テスト、グループワーク	
	4	小テスト、グループワーク	
	5	小テスト、グループワーク	
	6	小テスト、グループワーク	
	7	小テスト、グループワーク	
	8	小テスト、発表	
	9	小テスト、グループワーク	
	10	小テスト、グループワーク	
	11	小テスト、グループワーク	
	12	小テスト、グループワーク	
	13	G-TELP実施	
	14	小テスト、グループワーク	
	15	小テスト、発表	
16	期末試験		

キーワード	
教科書・教材・参考書	Messages to Our Future
成績評価の方法・基準等	期末テスト、小テスト、学習態度を、おおよそ以下の比率で総合的に評価する。 期末テスト:20% 小テスト:20% 自習状況を含む学習態度:40% G-TELP:20%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。 [印刷](#)

## シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。

戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009016	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (E7)		
編集担当教員	古場 なおみ		
授業担当教員名(科目責任者)	古場 なおみ		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古場 なおみ		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]301		
対象学生(クラス等)	経済(E7)		
担当教員Eメールアドレス	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	講義の前後		
授業のねらい	(1)健康問題、食品関係、さらに医療を含め「健康」を題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、TOEIC形式の問題等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)AP通信などのニュース英語に慣れ親しむ。		
授業方法(学習指導法)	講義形式でテキストを進める。		
授業到達目標	国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明	
	2	The Picture of Health, Unit 1	
	3	The Picture of Health, Unit 2	
	4	The Picture of Health, Unit 3	
	5	The Picture of Health, Unit 4	
	6	The Picture of Health, Unit 5	
	7	The Picture of Health, Unit 6	
	8	The Picture of Health, Unit 7	
	9	The Picture of Health, Unit 8	
	10	The Picture of Health, Unit 9	
	11	The Picture of Health, Unit 10	
	12	The Picture of Health, Unit 11	
	13	G-TELP	
	14	The Picture of Health, Unit 12	
	15	The Picture of Health, Unit 13 & Review	
16	期末試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	The Picture of Health (南雲堂)
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%(定期試験70%、小テスト、出席、授業への積極的な取り組み30%) G-TELP20%
受講要件(履修条件)	毎回の予習、10回以上の出席
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	授業で指示



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



## シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009019	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (E6)		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]402		
対象学生(クラス等)	E6		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	毎週金曜日 12:00~12:50		
授業のねらい	現在、アメリカの抱えている問題(肥満、人種差別、離婚家庭、不法滞在、フェイスブックの思わぬ落とし穴など)を扱った内容を通し、自分たちの社会にも同じ問題があることに目を向け、それぞれの問題に対する対処法等、自身の考えを述べられることをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	一回の授業で一課のペースで進む。 前半はリーディング中心の授業で、既習文法等を再確認しながら、英文を正確に読んでいく。 後半はリスニング中心の授業で、本文の内容をリスニングによる質問等でさらに理解を深めていく。		
授業到達目標	授業で取り上げた各課の問題、その解決策を通し、自分の身の回りで起きている同じ事例を取り上げ、それについて自身の考えを述べられるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方・諸注意 Laughing Matters	
	2	A Spreading Problem	
	3	Juneteenth	
	4	Father's Day	
	5	Watch Your Language	
	6	A New York State of Mind	
	7	Illegal	
	8	Living with Animals	
	9	Speaking of Facebook	
	10	Watch Men Want	
	11	Don't Shoot!	
	12	Good Question	
	13	G-TELP	
	14	Making the Grade	
	15	And Justice for All	



	16 定期試験
キーワード	アメリカ 問題 解決策
教科書・教材・参考書	U.S.A. Update いま、アメリカを読む(南雲堂) ¥1,785
成績評価の方法・基準等	定期試験 60% 授業への積極的な取り組み(課題、発表等)40% ←を80%換算したものとG-TELPの成績20%
受講要件(履修条件)	授業中、発表してもらるので、発表できるよう、予習をしっかりとした上で授業に出席すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590009033	科目番号	05900090																				
授業科目名	●総合英語 I (L5)																						
編集担当教員	西原 俊明																						
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]323																						
対象学生(クラス等)	L5																						
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp																						
担当教員研究室																							
担当教員TEL	095-819-2095																						
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment																						
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。																						
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。																						
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。																						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月10日 第1回 オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月17日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月24日 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5月1日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月8日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5月15日 第6回 弱く発音される音, 速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5月22日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(1)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5月29日 第8回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月5日</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月10日 第1回 オリエンテーション	2	4月17日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1)	3	4月24日 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1)	4	5月1日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)	5	5月8日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)	6	5月15日 第6回 弱く発音される音, 速読(phrase reading)	7	5月22日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(1)	8	5月29日 第8回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)		6月5日
回	内容																						
1	4月10日 第1回 オリエンテーション																						
2	4月17日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1)																						
3	4月24日 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1)																						
4	5月1日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)																						
5	5月8日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)																						
6	5月15日 第6回 弱く発音される音, 速読(phrase reading)																						
7	5月22日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(1)																						
8	5月29日 第8回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)																						
	6月5日																						

	9	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	6月12日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	6月19日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	6月26日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	7月3日 G-TELPテスト
	14	7月10日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6), retelling and summarizing
	15	7月17日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト Cultural Encounters(センテージ)	
成績評価の方法・基準等	G-TELP(20%)、小テスト(70%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは毎回行う。総合英語Iの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1797秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009040	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (L6)		
編集担当教員	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(科目責任者)	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲毛 逸郎		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]205		
対象学生(クラス等)	L6 (教育学部1年次生)		
担当教員Eメールアドレス	inaga@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部 6F 618 研究室		
担当教員TEL	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー	水曜日 16:10~17:40		
授業のねらい	高等学校までの英語学習を踏まえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。		
授業到達目標	英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる総合的英語力の育成を目標とする。		
授業内容	16回目 定期試験		
	回	内容	
	1	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Unit 1 Formal Letter Writing: A Dying Art Scanningのスキルについて	
	2	Unit 2 U.S. Teens: Reading is Interesting Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)	
	3	Unit 3 How Old Is Old Enough Skimming for the Main Idea	
	4	Unit 4 The History of Hollywood Recognizing Sequence of Events	
	5	Unit 5 Numbers and Beliefs Identifying Main Ideas within Paragraphs (1)	
	6	Unit 6 The History of Chocolate Predicting のスキル	
	7	Unit 7 Breakfast Like a King Inferring のスキル	
	8	Unit 8 Oh, No --- Not Another Test! Identifying Main and Supporting Ideas	
	9	Unit 9 FAQs about Recycling Understanding Main Ideas (Gist)	
10	Unit 10 Time for Work, Time for Play		

	Identifying Main Ideas withing Paragraphs (2)
	11 Unit 11 Netiquette --- Internet Dos and Don'ts Developing Reading Fluency (1)
	12 Unit 12 Have You Read Any Good Books Lately? Developing Reading Fluency (2)
	13 G-TELP 試験実施
	14 Unit 13 Life Expectations Developing Reading Fluency (3)
	15 Unit 14 The Oscar Goes to ... Willie Fulgear! Developing Reading Fluency (4)
	16 定期試験実施
キーワード	英語の4技能、総合的訓練
教科書・教材・参考書	Intermediate Skills for Reading 成美堂
成績評価の方法・基準等	期末試験(70%)、G-TELPの成績(20%)、授業での活動に対する積極的な取り組み状況(10%)を基準に評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	既習外国語
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。





タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水1																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590009009	科目番号	05900090																				
授業科目名	●総合英語 I (E5)																						
編集担当教員	吉村 宗司																						
授業担当教員名(科目責任者)	吉村 宗司																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉村 宗司																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]322																						
対象学生(クラス等)	E5																						
担当教員Eメールアドレス	yoshimura@nagasaki-joshi.ac.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師控室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスアワー	授業の前後(10:20~10:30/322教室)																						
授業のねらい	授業のねらい:対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(米語)-必要最低限の英語(米語)-を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に掲げるものである。																						
授業方法(学習指導法)	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声の特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英語(米語)の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。尚、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。																						
授業到達目標	本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。																						
授業内容	<p>授業内容(概要)</p> <p>前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声の特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音 /j/, /w/, /r/, /t/ と /l/ の発音</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/ の脱落、/t/, /d/ のラ音化</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>連結しない場合の /l/, /h/ の脱落、半母音 /j/, /w/ と /n/+/d/ による音変化</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>『閉鎖音の連結による脱落』、『同じ子音の連結による脱落』を聞き取るパターン</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音 /j/ に絡む音変化①)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)	2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について	3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音 /j/, /w/, /r/, /t/ と /l/ の発音	4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説	5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック	6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/ の脱落、/t/, /d/ のラ音化	7	連結しない場合の /l/, /h/ の脱落、半母音 /j/, /w/ と /n/+/d/ による音変化	8	『閉鎖音の連結による脱落』、『同じ子音の連結による脱落』を聞き取るパターン	9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音 /j/ に絡む音変化①)
回	内容																						
1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)																						
2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について																						
3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音 /j/, /w/, /r/, /t/ と /l/ の発音																						
4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説																						
5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック																						
6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/ の脱落、/t/, /d/ のラ音化																						
7	連結しない場合の /l/, /h/ の脱落、半母音 /j/, /w/ と /n/+/d/ による音変化																						
8	『閉鎖音の連結による脱落』、『同じ子音の連結による脱落』を聞き取るパターン																						
9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音 /j/ に絡む音変化①)																						

	10 『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化②)、『調音点が近い子音の連続』
	11 『同化』を聞き取るパターン(3)(/h/の後続音への影響)、On an Airplane(1)
	12 On an Airplane(2)／VTR視聴／ニュースを聞き取る
	13 G-TELP実施 At an Airport(1)／洋楽を聞き取る
	14 At an Airport(2)／Taking a Taxi(1)／洋楽を聞き取る
	15 Taking a Taxi(2)／洋楽を聞き取る／まとめ
	16 定期試験 ※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。尚、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。
キーワード	音法
教科書・教材・参考書	(1) 英語リスニング-聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材) (3) アメリカの生活と文化(VTR教材)
成績評価の方法・基準等	G-TELPの結果20%、定期試験70%、受講態度10%等の総合判定によって評価を行なう。
受講要件(履修条件)	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。
本科目の位置づけ	本科目は、英語の四技能習得のうち、実用英語運用能力、即ちリスニングとスピーキングの能力を促進させることに力点を置いた位置づけである。
学習・教育目標	英語国民と円滑なコミュニケーションを図ることができるレベルのリスニング力とスピーキング力を習得することが目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語検定試験などのリスニング部門で高得点をあげることも目標に掲げたい。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	辞書、あるいは電子辞書を準備する。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望ましい。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できる。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	水1																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590009023	科目番号	05900090																				
授業科目名	●総合英語 I (T4)																						
編集担当教員	稲富 百合子																						
授業担当教員名(科目責任者)	稲富 百合子																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲富 百合子																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]302																						
対象学生(クラス等)	工学(T4)																						
担当教員Eメールアドレス	inadomi@fukuoka-u.ac.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスアワー	授業の前後、またはメールにて受け付けます。																						
授業のねらい	この授業では、英語の4技能のうち、特に「読む」「聴く」の能力を養成することを目指します。																						
授業方法(学習指導法)	テキストに沿って、授業を進めていきます。1回の授業につき、1ユニット進めることを進度の目安にしてください。また、授業のはじめに小テストを行います。各自、予習・復習をして授業に臨んでください。																						
授業到達目標	(1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 (2) 自然な速読で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。																						
授業内容	<p>この授業では、歴史に残る珠玉の英語スピーチを取り上げたテキストを使用します。語彙、文法、構文など様々な練習問題を通して、スピーチ原文の理解を深めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エイブラハム・リンカーンのゲティスバーグの演説</li> <li>・バラク・オバマの大統領選・勝利宣言</li> <li>・村上春樹のエルサレム賞受賞記念演説</li> <li>・アウン・サン・スー・チーのノーベル平和賞受賞演説</li> <li>・フランクリン・ローズヴェルトの年頭教書演説</li> <li>・オードリー・ヘップバーンのユニセフ親善大使としてのスピーチ</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方に関する説明)、英語の文章構成・英語のスピーチの特徴について(プリント教材)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Introduction: The Gettysburg Address by Abraham Lincoln</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Chapter 1: Victory Speech by Barack H. Obama Unit 1: We Are the United States of America</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Unit 2: Burden and Promise</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Unit 3: Yes, We Can</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Chapter 2: Of Wall and Eggs by Haruki Murakami Unit 4: Why to Jerusalem?</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Unit 5: Wall and Eggs</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Chapter 3: The Nobel Peace Prize 1991 Acceptance Speech by Aung San Suu Kyi Unit 6: Burma's Plight</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Unit 7: Aung Sab Suu Kyi's Philosophy</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方に関する説明)、英語の文章構成・英語のスピーチの特徴について(プリント教材)	2	Introduction: The Gettysburg Address by Abraham Lincoln	3	Chapter 1: Victory Speech by Barack H. Obama Unit 1: We Are the United States of America	4	Unit 2: Burden and Promise	5	Unit 3: Yes, We Can	6	Chapter 2: Of Wall and Eggs by Haruki Murakami Unit 4: Why to Jerusalem?	7	Unit 5: Wall and Eggs	8	Chapter 3: The Nobel Peace Prize 1991 Acceptance Speech by Aung San Suu Kyi Unit 6: Burma's Plight	9	Unit 7: Aung Sab Suu Kyi's Philosophy
回	内容																						
1	教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方に関する説明)、英語の文章構成・英語のスピーチの特徴について(プリント教材)																						
2	Introduction: The Gettysburg Address by Abraham Lincoln																						
3	Chapter 1: Victory Speech by Barack H. Obama Unit 1: We Are the United States of America																						
4	Unit 2: Burden and Promise																						
5	Unit 3: Yes, We Can																						
6	Chapter 2: Of Wall and Eggs by Haruki Murakami Unit 4: Why to Jerusalem?																						
7	Unit 5: Wall and Eggs																						
8	Chapter 3: The Nobel Peace Prize 1991 Acceptance Speech by Aung San Suu Kyi Unit 6: Burma's Plight																						
9	Unit 7: Aung Sab Suu Kyi's Philosophy																						



	10	Chapter 4: Annual Message to Congress by Franklin D. Roosevelt Unit 8: Clear and Present Danger
	11	Unit 9: American Way to GO
	12	Unit 10: Our Democracy and Freedom
	13	G-TELP
	14	Chapter 5: Statements to Members of the United Nations Staff as UNICEF Goodwill Ambassador by Audrey Hepburn Unit 11: UNICEF and Audrey Hepburn
	15	Unit 12: Society and Children
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		[Title] Memorable Speeches (『珠玉のスピーチで学ぶ英語』) [Author(s)] 加島巧／藤内則光／山川欣也／川島浩勝 [Publisher] センゲージラーニング [ISBN] 978-4-86312-190-4  参考書等 授業中に適時紹介します。
成績評価の方法・基準等		教員評価部分【期末試験 60%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)25%、小テスト15%とし、総合的に評価します。】 * 教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に評価する。
受講要件(履修条件)		原則として全回出席することが求められます。 第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。価格は1995円です。 授業には必ず辞書を持参してください。
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590009010	科目番号	05900090																				
授業科目名	●総合英語 I (T6)																						
編集担当教員	吉村 宗司																						
授業担当教員名(科目責任者)	吉村 宗司																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉村 宗司																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[環]442																						
対象学生(クラス等)	T6																						
担当教員Eメールアドレス	yoshimura@nagasaki-joshi.ac.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師控室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスパワー	授業の前後(10:20~10:30/12:00~12:10/442教室)																						
授業のねらい	授業のねらい:対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(米語)-必要最低限の英語(米語)-を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に掲げるものである。																						
授業方法(学習指導法)	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声の特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英語(米語)の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。尚、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。																						
授業到達目標	本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。																						
授業内容	<p>授業内容(概要)</p> <p>前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声の特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音 /j/, /w/, /r/, /t/ と /l/ の発音</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/ の脱落、/t/, /d/ のラ音化</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>連結しない場合の /l/, /h/ の脱落、半母音 /j/, /w/ と /n/+/d/ による音変化</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>『閉鎖音の連結による脱落』、『同じ子音の連結による脱落』を聞き取るパターン</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音 /j/ に絡む音変化①)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)	2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について	3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音 /j/, /w/, /r/, /t/ と /l/ の発音	4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説	5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック	6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/ の脱落、/t/, /d/ のラ音化	7	連結しない場合の /l/, /h/ の脱落、半母音 /j/, /w/ と /n/+/d/ による音変化	8	『閉鎖音の連結による脱落』、『同じ子音の連結による脱落』を聞き取るパターン	9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音 /j/ に絡む音変化①)
回	内容																						
1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)																						
2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について																						
3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音 /j/, /w/, /r/, /t/ と /l/ の発音																						
4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説																						
5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック																						
6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/ の脱落、/t/, /d/ のラ音化																						
7	連結しない場合の /l/, /h/ の脱落、半母音 /j/, /w/ と /n/+/d/ による音変化																						
8	『閉鎖音の連結による脱落』、『同じ子音の連結による脱落』を聞き取るパターン																						
9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音 /j/ に絡む音変化①)																						

	10 『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化②)、『調音点が近い子音の連続』
	11 『同化』を聞き取るパターン(3)(/h/の後続音への影響)、On an Airplane(1)
	12 On an Airplane(2)／VTR視聴／ニュースを聞き取る
	13 G-TELP実施 At an Airport(1)／洋楽を聞き取る
	14 At an Airport(2)／Taking a Taxi(1)／洋楽を聞き取る
	15 Taking a Taxi(2)／洋楽を聞き取る／まとめ
	16 定期試験 ※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。尚、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。
キーワード	音法
教科書・教材・参考書	(1) 英語リスニング-聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材) (3) アメリカの生活と文化(VTR教材)
成績評価の方法・基準等	G-TELPの結果20%、定期試験70%、受講態度10%等の総合判定によって評価を行なう。
受講要件(履修条件)	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。
本科目の位置づけ	本科目は、英語の四技能習得のうち、実用英語運用能力、即ちリスニングとスピーキングの能力を促進させることに力点を置いた位置づけである。
学習・教育目標	英語国民と円滑なコミュニケーションを図ることができるレベルのリスニング力とスピーキング力を習得することが目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語検定試験などのリスニング部門で高得点をあげることも目標に掲げたい。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	辞書、あるいは電子辞書を準備する。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望ましい。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できる。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!





タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009021	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (K3)		
編集担当教員	中村 吏花		
授業担当教員名(科目責任者)	中村 吏花		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 吏花		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]402		
対象学生(クラス等)	K3		
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜昼休み		
授業のねらい	速読、精読を意識して行う。高校までに学習してきた英語の基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。		
授業方法(学習指導法)	英文解釈や英文音読など毎回無作為に指名して発表してもらう。テキスト付属のCDを活用して、英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。重要文法事項を解説する。		
授業到達目標	基本的な文法・構文・表現方法を習得する。英語と日本語の違いを知り、英文の語順のまま、内容を理解できる。		
授業内容	始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。内容がよくつかめないときは、何がわからないのかを明らかにさせてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。*教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それより遅い入室は欠席扱いとします。		
	回	内容	
	1	第1回 4月11日 Introduction	
	2	第2回 4月18日 Shiretoko	
	3	第3回 4月25日 Nikko	
	4	第4回 5月2日 Sirakawa-go	
	5	第5回 5月9日 Nara	
	6	第6回 5月16日 The Horyuji Temple	
	7	第7回 5月23日 Review	
	8	第8回 5月30日 Japanese food	
	9	第9回 6月6日 Kyoto	
	10	第10回 6月13日 The Kinkakuji Temple	
11	第11回 6月20日 Himeji Castle		

	12	第12回 6月27日 The Itsukushima Shrine
	13	第13回 7月4日 G-TELP
	14	第14回 7月11日 発表(1)
	15	第15回 7月18日 発表(2)
	16	第16回 7月25日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	五十嵐昭人『英語で巡る日本の世界遺産』(南雲堂) *必ずテキスト本体を入手して出席してください。	
成績評価の方法・基準等	定期試験60%、発表10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%	
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がないと定期試験を受験できません。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。 正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590009024	科目番号	05900090																				
授業科目名	●総合英語 I (T5)																						
編集担当教員	稲富 百合子																						
授業担当教員名(科目責任者)	稲富 百合子																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲富 百合子																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]302																						
対象学生(クラス等)	工学(T5)																						
担当教員Eメールアドレス	inadomi@fukuoka-u.ac.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスアワー	授業の前後、また、メールにて受け付けます。																						
授業のねらい	この授業では、世界15カ国の文化や歴史に関する映像(DVD)を活用しながら、できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力を養成することを目指します。																						
授業方法(学習指導法)	授業の前半ではリーディングを中心に、後半ではリスニングの問題を中心に進めていきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。																						
授業到達目標	(1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 (2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。																						
授業内容	<p>予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニット進めることを進度の目安にしてください。 リーディングでは、各国に関する英文を読み、語彙・文法・構文など、様々な要素の知識を習得していきましょう。 リスニングにおいては、ディクテーションを行い、内容の大意をつかむ練習と細部まで理解を深める練習の両方を行います。また、単語や表現の正確な発音を身につけていきます。 テキストの構成は以下の通りです。</p> <p>(1) Warm-up Exercise: 各国に関する背景知識について (2) Vocabulary Exercise: Readingの中に出てくる単語とその意味について (3) Reading: 300語程度の英文。各国に関する情報を増やし、DVDの内容理解の助けとなるもの (4) DVD Part I: 各国の歴史、文化、社会などの紹介と内容理解を問う練習問題 (4) DVD PART II: 地元の人々へのインタビュー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明)、英語の文章構成について(プリント教材)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Chapter 1: INDIA</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Chapter 2: PHILIPPINES</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Chapter 3: THAILAND</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Chapter 4: VIETNAM</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Chapter 5: KOREA</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Chapter 6: FRANCE</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Chapter 7: ITALY</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Chapter 8: DENMARK</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明)、英語の文章構成について(プリント教材)	2	Chapter 1: INDIA	3	Chapter 2: PHILIPPINES	4	Chapter 3: THAILAND	5	Chapter 4: VIETNAM	6	Chapter 5: KOREA	7	Chapter 6: FRANCE	8	Chapter 7: ITALY	9	Chapter 8: DENMARK
回	内容																						
1	教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明)、英語の文章構成について(プリント教材)																						
2	Chapter 1: INDIA																						
3	Chapter 2: PHILIPPINES																						
4	Chapter 3: THAILAND																						
5	Chapter 4: VIETNAM																						
6	Chapter 5: KOREA																						
7	Chapter 6: FRANCE																						
8	Chapter 7: ITALY																						
9	Chapter 8: DENMARK																						

	10 Chapter 9: PORTUGAL
	11 Chapter 10: TURKEY
	12 Chapter 11: EGYPT
	13 G-TELP
	14 Chapter 12: SOUTH AFRICA
	15 Chapter 13: BRAZIL
	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	[Title] World Adventures [Author(s)] Scott Berlin／小林めぐみ [Publisher] 金星堂 [ISBN] 978-4-7647-3907-9 * 参考書等 授業中に適時紹介します。 * 授業には必ず辞書を持参して下さい。
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験60%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)25%、小テスト15%とし、総合的に評価します。】 教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に評価する。
受講要件(履修条件)	原則として全回出席することが求められます。 第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。価格は2300円(税別)です。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009029	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (K4)		
編集担当教員	松田 雅子		
授業担当教員名(科目責任者)	松田 雅子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松田 雅子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	環境科学部1年生 K4		
担当教員Eメールアドレス	mmatsuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部404		
担当教員TEL	819-2740		
担当教員オフィスアワー	月曜日16:00-17:00		
授業のねらい	(1)英語のスピーキング力、リスニング力、読解力をつける (2)英語でコメントし、自分の意見を言えるようになる		
授業方法(学習指導法)	ビデオ視聴、リスニング、リピーティング、スピーキング、ペアワーク、レコーディング		
授業到達目標	英語でのスピーキング力をつける		
授業内容	<p>① 日本語は音節が約100、英語は約3000である。したがって、英語を話すことができるようになるためには、実際に動かして、英語の発音の型を学ぶ必要がある。基本的な英語の文型を吹き込んだCDを何度も聞き、声を出して練習する。ICレコーダーに録音し、学習の記録をとる。</p> <p>② 英語の映画をDVDで視聴し、その内容をまとめ、コメントを英語で書く。</p> <p>③ 簡単な英語教材を読み、英語で内容をまとめ、意見を発表する</p> <p>④ いろいろなトピックについて、ペア、あるいはグループで英語で話し合う</p> <p>⑤ 英語のスピーキングテスト(30分)の準備を行う。絵を見て説明したり、4コマ漫画からストーリーを話したり、2つの物を比べ長所短所を述べる、道順を教えるなどである。</p> <p>⑥ G-TELP筆記試験(学生用資格試験)を受ける</p> <p>第1回 オリエンテーション 1課-4課  第2回 5課-8課、ペアワーク  第3回 9課-12課 ペアワーク  第4回 13課-16課 ペアワーク  第5回 17課-20課 ペアワーク  第6回 21課-24課 ペアワーク  第7回 25課-28課 ペアワーク  第8回 29課-32課 ペアワーク  第9回 33課-36課 ペアワーク  第10回 37課-40課 ペアワーク  第11回 41課-44課 ペアワーク  第12回 スピーキングテスト  第13回 G-TELP テスト  第14回 45課-48課 ペアワーク  第15回 49課-50課  第16回 テスト</p>		
キーワード	英語のスピーキング力、レコーディング		



教科書・教材・参考書	英会話なるほど練習帳(アルク、2001) 副教材:Just Like a Movie(ケンブリッジ)
成績評価の方法・基準等	○定期試験 50%、G-TELP筆記試験20%、スピーキングテスト10%、宿題20%
受講要件(履修条件)	レコーディングの吹込みを毎日やること。積極的に学習に取り組むこと。
本科目の位置づけ	スピーキング力の養成は英語学習の基礎である。
学習・教育目標	スピーキング力とコミュニケーション能力を付ける
備考(URL)	
備考(準備学習等)	レコーディング、DVD視聴などの家庭学習に取り組むこと。さらに、副教材をよみ、英語でコメントを書き、自学自習を積極的にやる。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	水3																												
開講期間																															
必修選択	必	単位数	1.0																												
時間割コード	20120590009004	科目番号	05900090																												
授業科目名	●総合英語 I (E4)																														
編集担当教員	稲田 俊明																														
授業担当教員名(科目責任者)	稲田 俊明																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲田 俊明																														
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																												
教室	[全]124																														
対象学生(クラス等)	E4																														
担当教員Eメールアドレス	inada@lit.kyushu-u.ac.jp																														
担当教員研究室																															
担当教員TEL																															
担当教員オフィスアワー	火曜2限(事前にメールで連絡すること)																														
授業のねらい	"英語の読解力と日本語・英語による要約する力を養う。 短い英文のリスニングの能力を養う。"																														
授業方法(学習指導法)	"下記の「授業内容」欄に記された教材を使って、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 必要に応じて、宿題によって課題の提出を求める。 "																														
授業到達目標	"英語で書かれた論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語で書かれた論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語でまとめる基礎的な作文技術を身に付ける。"																														
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>1. English Jokes (速読1)</td></tr> <tr><td>2</td><td>2. Newton's Apple (速読2 + 聞き取り)</td></tr> <tr><td>3</td><td>3. Quiz 1 (語彙、表現)</td></tr> <tr><td>4</td><td>4. University Life (速読3 + 聞き取り)</td></tr> <tr><td>5</td><td>5. Know the Lingo (大学生生活の英語)</td></tr> <tr><td>6</td><td>6. Quiz 2 (語彙、表現)</td></tr> <tr><td>7</td><td>7. The Wall Street Journal (新聞の英語)</td></tr> <tr><td>8</td><td>8. UCLA Bruins (大学新聞の英語)</td></tr> <tr><td>9</td><td>9. Quiz 3 (語彙、表現、聞き取り)</td></tr> <tr><td>10</td><td>10. 英語流と日本語流の違い (英文要約 1)</td></tr> <tr><td>11</td><td>11. PO: Beyond Yes and No (英文要約 2)</td></tr> <tr><td>12</td><td>12. Quiz 4 (語彙、表現、聞き取り)</td></tr> <tr><td>13</td><td>13. G-TELP</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	1. English Jokes (速読1)	2	2. Newton's Apple (速読2 + 聞き取り)	3	3. Quiz 1 (語彙、表現)	4	4. University Life (速読3 + 聞き取り)	5	5. Know the Lingo (大学生生活の英語)	6	6. Quiz 2 (語彙、表現)	7	7. The Wall Street Journal (新聞の英語)	8	8. UCLA Bruins (大学新聞の英語)	9	9. Quiz 3 (語彙、表現、聞き取り)	10	10. 英語流と日本語流の違い (英文要約 1)	11	11. PO: Beyond Yes and No (英文要約 2)	12	12. Quiz 4 (語彙、表現、聞き取り)	13	13. G-TELP
回	内容																														
1	1. English Jokes (速読1)																														
2	2. Newton's Apple (速読2 + 聞き取り)																														
3	3. Quiz 1 (語彙、表現)																														
4	4. University Life (速読3 + 聞き取り)																														
5	5. Know the Lingo (大学生生活の英語)																														
6	6. Quiz 2 (語彙、表現)																														
7	7. The Wall Street Journal (新聞の英語)																														
8	8. UCLA Bruins (大学新聞の英語)																														
9	9. Quiz 3 (語彙、表現、聞き取り)																														
10	10. 英語流と日本語流の違い (英文要約 1)																														
11	11. PO: Beyond Yes and No (英文要約 2)																														
12	12. Quiz 4 (語彙、表現、聞き取り)																														
13	13. G-TELP																														

	14	14. 英文メール作成の基礎
	15	15. 英文メール作成の練習
	16	16. 期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	授業で配布する。	
成績評価の方法・基準等	出席20%、G-TELP 20%、授業中の課題20%、期末テスト40%	
受講要件(履修条件)	同クラスの履修経験のないもの	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009012	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (E3)		
編集担当教員	加島 巧		
授業担当教員名(科目責任者)	加島 巧		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	加島 巧		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]301		
対象学生(クラス等)	Ea		
担当教員Eメールアドレス	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスパワー	授業時間の前後		
授業のねらい	ねらい:二種類の英語のテキストを読みながら、様々な練習問題を解いてゆきます。英語の総合力を高めます。英検2級の問題集に併せて、リスニング能力や速読能力を高めるテキストも使用し、英語の総合力を高めます。		
授業方法(学習指導法)	授業方法(学習指導法):演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初には、リスニングや、速読能力を高める授業を行います。毎回指定された量の自宅学習も必要とされます。		
授業到達目標	到達目標:テキストの英語を辞書無しでも読めることを目指します。付属CDでテキストの内容が聞き取れるようにします。		
授業内容	授業の最初には、English Proficiency Test でウォーミングアップを行います。その後英検の過去問を読んで行きます。かならず指定された部分を予習しておいてください。English Proficiency Test にはテキストとは別に問題集も付属していますので、各自ノートを作成し、毎週指定された部分の問題を解いて行ってまいります。		
	回	内容	
	1	第1回:オリエンテーション	
	2	第2回:Practice Test 1, 英検過去問1	
	3	第3回:Practice Test 2, 英検過去問2	
	4	第4回:Practice Test 3, 英検過去問3	
	5	第5回:Practice Test 4, 英検過去問4	
	6	第6回:Practice Test 5, 英検過去問5	
	7	第7回:Practice Test 6, 英検過去問6	
	8	第8回:Practice Test 7, 英検過去問7	
	9	第9回:Practice Test 8, 英検過去問8	
	10	第10回:Practice Test 9, 英検過去問9	
	11	第11回:Practice Test 10, 英検過去問10	
	12	第12回: 英検過去問11	
	13	第13回:G-TELPテストとまとめ	
14	第14回: 英検過去問12		

	15	第15回:英検過去問13
	16	第16回:定期試験7月26日
キーワード	英検2級、総合英語	
教科書・教材・参考書	English Proficiency Test (南雲堂)2,100円 2012年度版英検2級 過去6回全問題集(旺文社英検書)1,365円(第一回目の授業時に教室にて販売します)	
成績評価の方法・基準等	定期試験80%、G-TELP20%(出席重視)	
受講要件(履修条件)	定期試験の受験資格は規定による。教科書は2冊必ず購入すること	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1797秒です。

印刷

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009022	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (E1)		
編集担当教員	中村 吏花		
授業担当教員名(科目責任者)	中村 吏花		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 吏花		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]402		
対象学生(クラス等)	E1		
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜昼休み		
授業のねらい	速読、精読を意識して行う。高校までに学習してきた英語の基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。		
授業方法(学習指導法)	英文解釈や英文音読など毎回無作為に指名して発表してもらう。テキスト付属のCDを活用して、英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。重要文法事項を解説する。		
授業到達目標	基本的な文法・構文・表現方法を習得する。英語と日本語の違いを知り、英文の語順のまま、内容を理解できる。		
授業内容	始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。内容がよくつかめないときは、何がわからないのかを明らかにさせてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。*教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それより遅い入室は欠席扱いとします。		
	回	内容	
	1	第1回 4月11日 Introduction	
	2	第2回 4月18日 Shiretoko	
	3	第3回 4月25日 Nikko	
	4	第4回 5月2日 Sirakawa-go	
	5	第5回 5月9日 Nara	
	6	第6回 5月16日 The Horyuji Temple	
	7	第7回 5月23日 Review	
	8	第8回 5月30日 Japanese food	
	9	第9回 6月6日 Kyoto	
	10	第10回 6月13日 The Kinkakuji Temple	
11	第11回 6月20日 Himeji Castle		

	12	第12回 6月27日 The Itsukushima Shrine
	13	第13回 7月4日 G-TELP
	14	第14回 7月11日 発表(1)
	15	第15回 7月18日 発表(2)
	16	第16回 7月25日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	五十嵐昭人『英語で巡る日本の世界遺産』(南雲堂) *必ずテキスト本体を入手して出席してください。	
成績評価の方法・基準等	定期試験60%、発表10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%	
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がないと定期試験を受験できません。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。 正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009028	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (E2)		
編集担当教員	井上 一郎		
授業担当教員名(科目責任者)	井上 一郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井上 一郎		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]403		
対象学生(クラス等)	Eb		
担当教員Eメールアドレス	inoue@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部6F		
担当教員TEL	819-2376		
担当教員オフィスアワー	月曜日4校時		
授業のねらい	英文テキストを用いて徹底的な読解指導を行います。テキストとは、そこにおいて、読者は「内在する読者」となり、「内在する作者」からのメッセージを聴き取る、ある意味で、極めてコミュニカティブな場です。		
授業方法(学習指導法)	クラスの人数は多いかもしれませんが、演習形式で進めます。この形式を成立させるのは、受講生の側の努力も必要です。つまり、必ず予めテキストは読んでおいて下さい。		
授業到達目標	読解力の達成は、英文を日本語に表現し直した場合に査定されます。したがって、正確な日本語の能力もあわせて必要になります。		
授業内容	回	内容	
	1	第一回 オリエンテーション 授業の進め方等を説明する。	
	2	第二回 It's high time men ceased to regard women as second class citizen	
	3	第三回 Television is doing irreparable harm	
	4	第四回 Any form of education other than co-education is simply unthinkable	
	5	第五回 New fashions in clothing are created solely for the commercial exploitation of women	
	6	第六回 The younger generation knows best	
	7	第七回 Parents are too permissive with their children	
	8	第八回 Advertisers perform a useful service to the community	
	9	第九回 Vicious and dangerous sports should be banned by law	
	10	第十回 Examinations exert a pernicious influence on education	
	11	第十一回 Books, plays and film should be censored	
	12	第十二回 The tourist trade contributes absolutely nothing to increasing understanding between nations	
	13	第十三回 G-TELPテスト	
	14	第十四回 Capital punishment is the only way to deter criminals	
	15	第十五回 The space race is the world's biggest money waster	
	16	第十六回 定期試験	
キーワード	スロー・リーディング、コミュニケーション		



教科書・教材・参考書	テキスト:FOR AND AGAINST
成績評価の方法・基準等	定期試験 80%、G-TELP20%
受講要件(履修条件)	全回出席。全回予習。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009034	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (P1)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	P1		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。		
授業内容	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	4月11日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	4月18日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医学英語(1)	
	3	4月25日 第3回 Voice Aerobics、医学英語(2)	
	4	5月2日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医学英語(3)	
	5	5月9日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医学英語(4)	
	6	5月16日 第6回 弱く発音される音、医学英語(5)	
	7	5月23日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、	
	8	5月30日 第8回 聞こえなくなる音、医学英語(6)、速読(2)	
	6月6日		

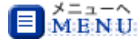
	9	第9回 インフォメーションギャップによるヘアワーク(2), 医学英語 (7)
	10	6月13日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
	11	6月20日 第11回 なくなる音, 医学英語(8), 速読(4)
	12	6月27日 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるヘアワーク(3)
	13	7月4日 G-TELPテスト
	14	7月11日 第13回 つながる音, 医学英語(9), 速読(5)
	15	7月18日 第14回 医学英語(10), 速読(6), summarizing and retelling, semantic mapの応用
	16	
キーワード	医学英語、音変化、速読	
教科書・教材・参考書	Medical English Clinic、及びプリント教材。	
成績評価の方法・基準等	教員評価分【G-TELP (20%)、まとめテスト(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。まとめテストは、shadowing練習の効果を見るテストを2回行う。	
受講要件(履修条件)	毎回、復習を行うこと。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。	
学習・教育目標	基礎的医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を電子化教材を用いて必ず復習すること。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009013	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (L4)		
編集担当教員	加島 巧		
授業担当教員名(科目責任者)	加島 巧		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	加島 巧		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]301		
対象学生(クラス等)	Ea		
担当教員Eメールアドレス	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィシアワー	授業時間の前後		
授業のねらい	ねらい:二種類の英語のテキストを読みながら、様々な練習問題を解いていきます。英語の総合力を高めます。英検2級の問題集に併せて、リスニング能力や速読能力を高めるテキストも使用し、英語の総合力を高めます。		
授業方法(学習指導法)	授業方法(学習指導法):演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初には、リスニングや、速読能力を高める授業を行います。毎回指定された量の自宅学習も必要とされます。		
授業到達目標	到達目標:テキストの英語を辞書無しでも読めることを目指します。付属CDでテキストの内容が聞き取れるようにします。		
授業内容	授業の最初には、English Proficiency Test でウォーミングアップを行います。その後英検の過去問を読んで行きます。かならず指定された部分を予習しておいてください。English Proficiency Test にはテキストとは別に問題集も付属していますので、各自ノートを作成し、毎週指定された部分の問題を解いて行ってまいります。		
	回	内容	
	1	第1回:オリエンテーション	
	2	第2回:Practice Test 1, 英検過去問1	
	3	第3回:Practice Test 2, 英検過去問2	
	4	第4回:Practice Test 3, 英検過去問3	
	5	第5回:Practice Test 4, 英検過去問4	
	6	第6回:Practice Test 5, 英検過去問5	
	7	第7回:Practice Test 6, 英検過去問6	
	8	第8回:Practice Test 7, 英検過去問7	
	9	第9回:Practice Test 8, 英検過去問8	
	10	第10回:Practice Test 9, 英検過去問9	
	11	第11回:Practice Test 10, 英検過去問10	
	12	第12回: 英検過去問11	
	13	第13回:G-TELPテスト	
14	第14回: 英検過去問12		

	15	第15回:英検過去問13とまとめ
	16	第16回:定期試験7月26日
キーワード	英検2級、総合英語	
教科書・教材・参考書	English Proficiency Test (南雲堂)2,100円 2012年度版英検2級 過去6回全問題集(旺文社英検書)1,365円(第一回目の授業時に教室にて販売します)	
成績評価の方法・基準等	定期試験80%、G-TELP20%(出席重視)	
受講要件(履修条件)	定期試験の受験資格は規定による。教科書は2冊必ず購入すること	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		

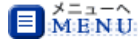


-----  
 Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1791秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水4																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590009035	科目番号	05900090																				
授業科目名	●総合英語 I (L1)																						
編集担当教員	西原 俊明																						
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]322																						
対象学生(クラス等)	L1																						
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp																						
担当教員研究室																							
担当教員TEL	095-819-2095																						
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment																						
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。																						
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。																						
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。																						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月11日 第1回 オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月18日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月25日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5月2日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月9日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5月16日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5月23日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5月30日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月6日</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月11日 第1回 オリエンテーション	2	4月18日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	3	4月25日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	4	5月2日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)	5	5月9日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)	6	5月16日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)	7	5月23日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)	8	5月30日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)		6月6日
回	内容																						
1	4月11日 第1回 オリエンテーション																						
2	4月18日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)																						
3	4月25日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)																						
4	5月2日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)																						
5	5月9日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)																						
6	5月16日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)																						
7	5月23日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)																						
8	5月30日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)																						
	6月6日																						

	9	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	6月13日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	6月20日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	6月27日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	7月4日 G-TELPテスト
	14	7月11日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6), retelling and summarizing
	15	7月18日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト Cultural Encounters(センテージ)	
成績評価の方法・基準等	G-TELP(20%)、小テスト(70%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは毎回行う。総合英語Iの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。	





タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009038	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (L2)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]323		
対象学生(クラス等)	L2		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィサー	火3 水3 木3		
授業のねらい	このクラスは、テキストを利用して、リスニング力や速読の練習を行い、そのスキルを大幅に向上させます。またプリント教材により毎回ニュース英語を読みリーディング力と語彙力の養成を行います。音読の訓練も行い、スピーキング面での強化も行います。		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストと配付のプリント教材を用いて、大意を取る練習をします。また細かな部分はブレーズリーディングで速読します。またテキストを用いて、リスニングの練習をたくさん行い、リスニングストラテジーによるリスニングスキルを身につけます。そして、e-learning 教材を授業の一部で行なうとともに、多くの部分は範囲を指定して、授業外学習をしてもらいます。また、最新の英字新聞を利用して、速読の練習も行います。		
授業到達目標	<p>プリント教材のテキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。テキストのファーストパラグラフがリピーティングできるようにします。</p> <p>また教科書の歌や歌詞が80%聞き取れるようにします。教科書の課題例文120を修得します。</p> <p>e-learning 教材パワーワーズレベル3の80%を修得します。</p> <p>授業の最初には、前回学習したプリントのテキストの第1パラグラフのリピーティングからはじめます。家庭で必ず練習してきてください。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生はテキストや英字新聞の指示された範囲を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。</p> <p>教科書の歌の歌詞をCDを用いて聞き取る練習をし、リスニングスキルをアップさせます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業外でe-learning教材にも挑戦してもらいます。その進捗度も評価に加えます。</p> <p>担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		
	回	内容	
	1	オリエンテーション Take Me Out to the Ball Game e-learning Power Pords Level 3 Unit.1 英字新聞記事1	
	2	Edelweiss, Amazing Grace e-learning Power Pords Level 3 Unit.2~4 英字新聞記事1	
	3	Puff e-learning Power Pords Level 3 Unit.5~8 英字新聞記事1	



授業内容	4	Unchained Melody e-learning Power Pords Level 3 Unit.9~12 英字新聞記事2	
	5	Over the Rainbow e-learning Power Pords Level 3 Unit.13~16 英字新聞記事2	
	6	Where Have All the Flowers Gone? e-learning Power Pords Level 3 Unit.17~20 英字新聞記事2	
	7	Tennessee Waltz e-learning Power Pords Level 3 Unit.21~24 英字新聞記事3	
	8	My Way e-learning Power Pords Level 3 Unit.25~28 英字新聞記事3	
	9	Dreaming Home and Mother e-learning Power Pords Level 3 Unit.29~32 英字新聞記事3	
	10	Long Long Ago e-learning Power Pords Level 3 Unit.33~36 英字新聞記事4	
	11	Grandfather's Clock e-learning Power Pords Level 3 Unit.37~40 英字新聞記事4	
	12	I've Working on the Railroad e-learning Power Pords Level 3 Unit.41~43 英字新聞記事4	
	13	英字新聞記事5 G-TELP 試験とまとめ	
	14	Beautiful Dreamer e-learning Power Pords Level 3 Unit.44~47	
	15	We wish you a Merry Christmas e-learning Power Pords Level 3 Unit.48~50 英字新聞記事5	
	16	定期試験	
	キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): English Melodies of the Heart (CD付) (英光社)1,795円 英字新聞 10円  (第1回目の授業時に教室にてセットで販売します) 教材 : プリント教材 毎回配布します。	
	成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20% 授業中の発表(小テスト含む)10%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





## シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009008	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (T1)		
編集担当教員	村岡 三奈子		
授業担当教員名(科目責任者)	村岡 三奈子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	村岡 三奈子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]124		
対象学生(クラス等)	T1		
担当教員Eメールアドレス	muraoka@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	長崎純心大学村岡研究室にて随時		
授業のねらい	政治・経済・科学技術・文化・教育など、さまざまなトピックを題材にした英字新聞を読みながら、現代社会が抱える諸問題を分析的に理解する能力を養うことを目指す。		
授業方法(学習指導法)	原則として、毎週、テキストを1章ずつ学習する。基本的 vocabulary の習得、reading およびその summary、さらに categorizing の順番で進める。予習を前提とし、毎回、授業のはじめに確認の小テストを行う。		
授業到達目標	基本的構文および文法事項に留まらず、英文記事を読むための表現や基礎知識を習得して、英字新聞が抵抗なく読めるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	4月5日 イントロダクション	
	2	4月12日 Chapter 1	
	3	4月19日 Chapter 2	
	4	4月26日 Chapter 3	
	5	5月10日 Chapter 4	
	6	5月17日 Chapter 5	
	7	5月24日 Chapter 6	
	8	5月31日 Chapter 7	
	9	6月7日 Chapter 8	
	10	6月14日 Chapter 9	
	11	6月21日 Chapter 10	
	12	6月28日 Chapter 11	
	13	7月5日 G-TELPテスト	
	14	7月12日 Chapter 12	
	15	7月19日 Chapter 13	
16	7月26日 定期試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	教科書: Insights 2012 (KINSEIDO)
成績評価の方法・基準等	G-TLEP 20% 出席および授業中の態度 10% 小テスト 10% 筆記試験 60%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009011	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (M4)		
編集担当教員	山口 敦子		
授業担当教員名(科目責任者)	山口 敦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山口 敦子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]301		
対象学生(クラス等)	M4		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスパワー	授業終了後		
授業のねらい	日本でも親しまれている英米の物語を読むことによって、文法力や語彙力を増やし、長文の読解力を強化することを目指す。本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景を学びながら生きた英語を味わっていく。本年度はシェイクスピアの代表的な演劇である『ロミオとジュリエット』、『ハムレット』の2作品を散文の物語にしたものをテキストとして取り上げる。またCDを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。		
授業方法(学習指導法)	毎回和訳とリスニングを中心にテキストを読み進める。精読と速読を組み合わせることで、英文の読解力の向上を図る。あらかじめ指定された担当者はテキストを音読し、和訳を発表する。		
授業到達目標	英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文をきちんと把握しながら、長文の読解力を強化する。CDに収められている情感に富む生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、日本語とは異なる英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
授業内容	毎回テキストに沿って、和訳とリスニングを中心に本文を読み進める。受講者は前もってその箇所を予習しておく。あらかじめ指定された担当者はテキストを読み、和訳を発表する。		
	回	内容	
	1	イントロダクション(授業の進め方、シェイクスピアとその英語について)	
	2	Romeo and Juliet Ch1: Love's Transgression	
	3	Romeo and Juliet Ch2: My Life Is My Foe's Debt	
	4	Romeo and Juliet Ch3: Parting Is Such Sweet Sorrow	
	5	Romeo and Juliet Ch4: The Measure of Thy Joy	
	6	Romeo and Juliet Ch5: O, I Am Fortune's Fool	
	7	Romeo and Juliet Ch6: Take Heed, for Such Die Miserable	
	8	Romeo and Juliet Ch7: A Cold and Drowsy Humour	
	9	Romeo and Juliet Ch8: Never Was a Story of More Woe	
	10	Hamlet Ch1: Murder Most Foul	
	11	Hamlet Ch2: Conscience Does Make Cowards of Us All	
	12	Hamlet Ch3: The Mousetrap	
13	G-TELP		

	14	Hamlet Ch4: Words without Thoughts Never to Heaven Go
	15	Hamlet Ch5: To Whet Thy Almost Blunted Sword
	16	定期試験
キーワード	リーディング、英文法、語彙、構文把握、シェイクスピア	
教科書・教材・参考書	Simply Shakespeare 『シンプルリー・シェイクスピア』南雲堂	
成績評価の方法・基準等	授業への積極的な取り組み状況(発表)10%、定期試験 70%、G-TELP 20%	
受講要件(履修条件)	毎回予習して授業に臨むこと	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1797秒です。 [印刷](#)タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009014	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (T2)		
編集担当教員	島山 均		
授業担当教員名(科目責任者)	島山 均		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	島山 均		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	T2		
担当教員Eメールアドレス	hatakeyama@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	木曜日の授業の前後、非常勤講師室にて		
授業のねらい	Voice of Americaを素材として作成された教材を使い、主としてlistening、speaking、reading、の能力の向上を目的とする。特に音読の練習を重視し、英文を自然に読める能力を身に付ける。		
授業方法(学習指導法)	小テスト、テキストに従いlistening、reading、音読(発音、イントネーション、リズム能力)向上のために演習。		
授業到達目標	まとまった内容の英文を自然な英語の発音でスムーズに読め、かつ暗唱できる。 まとまった内容の英文を細部までしっかりと内容を理解できるように聞き取りれる。		
授業内容	テキストにしたがって英語での演習を行う。毎回、小テストまたは音読テストを行う。 必ず予習をしてくる事。		
	回	内容	
	1	Orientation 授業の目的、概要、成績評価の基準などの説明	
	2	Unit 1 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	3	Unit 2 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	4	Unit 3 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	5	Unit 4 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	6	Unit 5 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	7	Unit 6 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	8	Unit 7 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	9	Unit 8 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	10	Unit 9 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	11	Unit 10 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	12	Unit 11 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	13	G-Telp	
	14	Unit 12 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	15	音読テスト	
16	定期試験(筆記試験)		

キーワード	
教科書・教材・参考書	安波誠祐・Richard Levin (2011) The Global Health and Environment: VOA Topics from Around the World 松柏社.
成績評価の方法・基準等	毎時間実施の小テスト-----30% G-Telp-----20% 音読テスト-----20% 期末試験-----30%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木4																												
開講期間																															
必修選択	必	単位数	1.0																												
時間割コード	20120590009005	科目番号	05900090																												
授業科目名	●総合英語 I (M3)																														
編集担当教員	稲田 俊明																														
授業担当教員名(科目責任者)	稲田 俊明																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲田 俊明																														
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																												
教室	[全]104																														
対象学生(クラス等)	M3																														
担当教員Eメールアドレス	inada@lit.kyushu-u.ac.jp																														
担当教員研究室																															
担当教員TEL																															
担当教員オフィスアワー	火曜2限(事前にメールで連絡すること)																														
授業のねらい	"英語の読解力と要約、ならびに課題について英語で述べる力を養う。 英文のリスニングの訓練を行う。"																														
授業方法(学習指導法)	"下記の「授業内容」欄に記された教材を使って、英文の読解、要約、作文、聞き取りを行う。 必要に応じて、宿題によって課題の提出を求める。 "																														
授業到達目標	"英語で書かれた論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語で書かれた論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語で作文ができるように、形式と基礎的な技術を身に付ける。"																														
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Lateral Thinking (速読用1)</td></tr> <tr><td>2</td><td>MIT Trivia (速読用2)</td></tr> <tr><td>3</td><td>Quiz 1 (語彙、表現)</td></tr> <tr><td>4</td><td>The Mighty Micro (精読用 1)</td></tr> <tr><td>5</td><td>The Value of History (精読用 2)</td></tr> <tr><td>6</td><td>Quiz 2 (語彙、表現、聞き取り)</td></tr> <tr><td>7</td><td>MIT Graduation Speech (精読用 3)</td></tr> <tr><td>8</td><td>MIT Tech Talk (精読用 4)</td></tr> <tr><td>9</td><td>Quiz 3 (DVD Program 1: Listening Comprehension)</td></tr> <tr><td>10</td><td>英語発表の技術 (英文要約)</td></tr> <tr><td>11</td><td>英語作文の技術 1 (問題処理の英語)</td></tr> <tr><td>12</td><td>Quiz 4 (DVD Program 2: Listening Comprehension)</td></tr> <tr><td>13</td><td>G-TELP</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	Lateral Thinking (速読用1)	2	MIT Trivia (速読用2)	3	Quiz 1 (語彙、表現)	4	The Mighty Micro (精読用 1)	5	The Value of History (精読用 2)	6	Quiz 2 (語彙、表現、聞き取り)	7	MIT Graduation Speech (精読用 3)	8	MIT Tech Talk (精読用 4)	9	Quiz 3 (DVD Program 1: Listening Comprehension)	10	英語発表の技術 (英文要約)	11	英語作文の技術 1 (問題処理の英語)	12	Quiz 4 (DVD Program 2: Listening Comprehension)	13	G-TELP
回	内容																														
1	Lateral Thinking (速読用1)																														
2	MIT Trivia (速読用2)																														
3	Quiz 1 (語彙、表現)																														
4	The Mighty Micro (精読用 1)																														
5	The Value of History (精読用 2)																														
6	Quiz 2 (語彙、表現、聞き取り)																														
7	MIT Graduation Speech (精読用 3)																														
8	MIT Tech Talk (精読用 4)																														
9	Quiz 3 (DVD Program 1: Listening Comprehension)																														
10	英語発表の技術 (英文要約)																														
11	英語作文の技術 1 (問題処理の英語)																														
12	Quiz 4 (DVD Program 2: Listening Comprehension)																														
13	G-TELP																														



	14	英語作文の技術 2 (英文手紙)
	15	まとめ
	16	期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	授業で配布する。	
成績評価の方法・基準等	出席20%、G-TELP 20%、授業中の課題20%、期末テスト40%	
受講要件(履修条件)	同クラスの履修経験のないもの	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009015	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (T3)		
編集担当教員	島山 均		
授業担当教員名(科目責任者)	島山 均		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	島山 均		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	T3		
担当教員Eメールアドレス	hatakeyama@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	木曜日の授業の前後、非常勤講師室にて		
授業のねらい	Voice of Americaを素材として作成された教材を使い、主としてlistening、speaking、reading、の能力の向上を目的とする。特に音読の練習を重視し、英文を自然に読める能力を身に付ける。		
授業方法(学習指導法)	小テスト、テキストに従いlistening、reading、音読(発音、イントネーション、リズム能力)向上のために演習。		
授業到達目標	まとまった内容の英文を自然な英語の発音でスムーズに読め、かつ暗唱できる。 まとまった内容の英文を細部までしっかりと内容を理解できるように聞き取りれる。		
授業内容	テキストにしたがって英語での演習を行う。毎回、小テストまたは音読テストを行う。 必ず予習をしてくる事。		
	回	内容	
	1	Orientation 授業の目的、概要、成績評価の基準などの説明	
	2	Unit 1 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	3	Unit 2 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	4	Unit 3 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	5	Unit 4 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	6	Unit 5 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	7	Unit 6 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	8	Unit 7 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	9	Unit 8 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	10	Unit 9 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	11	Unit 10 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	12	Unit 11 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	13	G-TELP	
	14	Unit 12 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
15	音読テスト		

	16 定期試験(筆記試験)
キーワード	
教科書・教材・参考書	安波誠祐・Kathleen Brown (2006) The Global Topics of Health and Environment from VOA 健康と環境:身近なトピックから国際問題まで. 松柏社.
成績評価の方法・基準等	毎時間実施の小テスト----30% 音読テスト-----20% 期末試験----- 30% G-TELP-----20%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

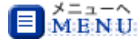


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009039	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (M2)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	M2		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスパワー	火3 水3 木3		
授業のねらい	このクラスは、医学・薬学・健康・食品関係の英文テキストを読みながら、リーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたリーディング用のテキストで、大意を取る練習をするとともに、細かな部分はプリントを利用したテスト形式で読み進めます。家庭での精読を課題として行ってもらいます。またコミュニケーション用のテキストを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。そして、このを利用して、専門語彙修得も図ります。そして、e-learning 教材を授業中行なうとともに、多くの部分は範囲を指定して、授業外学習してもらいます。		
授業到達目標	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words および Words and Phrases 約400語を確実に修得します。 また、コミュニケーションのテキストのダイアログパターン45をリピーティングできるようにし、実際に使えるようにします。 e-learning 教材パワーワーズレベル4の90%を修得します。		
	<p>授業の最初は、英語コミュニケーションのテキストのダイアログパターン45の練習そして録音活動から行います。家庭学習で指定されたダイアログパターンをしっかりと練習していただくことが大切です。家庭で必ずテキストについているCDを使いながら練習してきてください。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでも、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。細かな部分の内容の理解は、テスト形式のプリントを用いて、演習形式で行います。</p> <p>また、プリントと英語コミュニケーションのテキストCDを用いて専門分野の英単語の修得も行いません。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習として、その進捗度も評価に加えます。担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		
	回	内容	
	1	<p>オリエンテーション Unit 1. Huge Ocean Tuna Farm 英コミ ダイアログ 1.2.3 e-learning Power Pords Level 4 Unit.1</p>	
		Unit 2. Overweight Cross-Eyed Opossum	

授業内容	2	専門英語語彙 (1) 英コミ ダイアローグ 4.5.6 e-learning Power Pords Level 4 Unit.2~4
	3	Unit 3. Dutch Ban on Eel Fishing 英コミ ダイアローグ 7.8.9. 専門英語語彙 (2) e-learning Power Pords Level 4 Unit.5~8
	4	Unit 4. Fat Nightclub 専門英語語彙 (3) e-learning Power Pords Level 4 Unit.9~12 英コミ ダイアローグ 10.11.12
	5	Unit 5. Next Healthy Superfood 専門英語語彙 (4) e-learning Power Pords Level 4 Unit.13~16 英コミ ダイアローグ 13,14,15,
	6	Unit 6. Commuting by Bike 専門英語語彙 (5) e-learning Power Pords Level 4 Unit.17~20 英コミ ダイアローグ 16,17,18,
	7	Unit 7. Selling Bottled Water Illegal 専門英語語彙 (6) e-learning Power Pords Level 4 Unit.21~24 英コミ ダイアローグ 19,20,21,
	8	Unit 8. Swine Flue Shots 専門英語語彙 (7) e-learning Power Pords Level 4 Unit.25~28 英コミ ダイアローグ 22,23,24,
	9	Unit 9. Asian Obesity 専門英語語彙 (8) e-learning Power Pords Level 4 Unit.29~32 英コミ ダイアローグ 25,26,27,
	10	Unit 11. Black-Eyed Peas 専門英語語彙 (9) e-learning Power Pords Level 4 Unit.33~36 英コミ ダイアローグ 28,29,30,
	11	Unit 12. Battling Diabetes, Cancer 専門英語語彙 (10) e-learning Power Pords Level 4 Unit.37~40 英コミ ダイアローグ 31,32,33,
	12	Unit 13. Dengue Fever 専門英語語彙 (11) e-learning Power Pords Level 4 Unit.41~43 英コミ ダイアローグ 34,35,36
	13	G-TELP 試験 英コミ ダイアローグ 37,38,39
	14	Unit 14. Breakthrough Can Save Cancer-Devastated Tasmanian Devils 専門英語語彙 (12) e-learning Power Pords Level 4 Unit.44~47 英コミ ダイアローグ 40,41,42
	15	Unit 15. Chess Boxing 専門英語語彙 (13) e-learning Power Pords Level 4 Unit.48~50 英コミ ダイアローグ 43,44,45
	16	定期試験
	キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): The Picture of Health(南雲堂) 1,530円 『英語コミュニケーション教本』1,620円  (上記2冊の教科書を生協で購入して、授業に参加してください) 教材 : プリント教材 必要に応じて毎回配布します。	
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20% 授業中の発表(小テスト含む)10%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		

備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009006	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (T10)		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]403		
対象学生(クラス等)	T10		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間:金曜日4限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業のねらい	英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成します。		
授業方法(学習指導法)	この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、毎週、小テストを実施します。授業中は、小テストの他にグループワークを取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら運用能力の養成を図ります。		
授業到達目標	各単語を逐一聞き取ろうとするのではなく、5語前後から成るフレーズに注目し、そのフレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	教材の説明、学習方法の説明	
	3	小テスト、グループワーク	
	4	小テスト、グループワーク	
	5	小テスト、グループワーク	
	6	小テスト、グループワーク	
	7	小テスト、グループワーク	
	8	小テスト、発表	
	9	小テスト、グループワーク	
	10	小テスト、グループワーク	
	11	小テスト、グループワーク	
	12	小テスト、グループワーク	
	13	G-TELP実施	
	14	小テスト、グループワーク	
	15	小テスト、発表	
16	期末試験		

キーワード	
教科書・教材・参考書	Healing Our World
成績評価の方法・基準等	期末テスト、小テスト、学習態度を、おおよそ以下の比率で総合的に評価する。 期末テスト:20% 小テスト:20% 自習状況を含む学習態度:40% G-TELP:20%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.





## シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009017	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (T7)		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]124		
対象学生(クラス等)	Ti		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	0.0		
担当教員オフィシアワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	特にReadingに関してバランスの取れたスキルアップを目指します。日本語訳、英語訳の対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。		
授業方法(学習指導法)	できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。		
授業内容	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。多様なトピックについて多く取り上げられているTextです。Phrase Reading, Skimming-Scanning, Listening, 意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで演習します。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction	
	2	第2回 Unit 1 Mt. Everest Trash Turned Into Other Men's Treasure	
	3	第3回 Unit 2 Palestinian Ensemble Gives Cultural Lesson to Americans	
	4	第4回 Unit 3 Zambian Children Get Their Education Over the Radio	
	5	第5回 Unit 4 Plan Calls for Brazilian Schoolkids to Drink Coffee	
	6	第6回 Unit 5 U.N. Member States Urged to Observe Olympic Truce	
	7	第7回 Unit 6 Jewish, Muslim Students Live Together to Promote Peace	
	8	第8回 Unit 7 Bosnian Soccer Club Shows Unity Can Work	
	9	第9回 Unit 8 Aceh Students Join Tsunami Recovery Efforts	
	10	第10回 Unit 9 Palestinian Rappers Fight Occupation with Music, Not Bombs	
	11	第11回 Unit 10 Beijing Suggests Rooftop Lawns for Cleaner Air	
	12	第12回 Unit 11 Start of School Year Signals Progress for Afghanistan	
	13	第13回 G-TLP	
	14	第14回 Unit 12 Tiny Chilean Clarinet Maker Crafts World's Best	
15	第15回 Unit 13 U.N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon		

16 第16回 Final Examination	
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	Message to Our Future 金星堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% G-TELP 20% Final Examination 50%
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 欠席が1/3以上で期末試験受験資格を失います。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPテストは、原則15回目の授業で実施。詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。

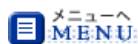


学期	前期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009020	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (D1・2)		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]402		
対象学生(クラス等)	D1・2		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	毎週金曜日 12:00~12:50		
授業のねらい	世界各地で起きている医療・健康問題(アフリカの貧困や病気、世界的血液不足、ゲームが人に与える影響など)の英文を読み、自身の考えを英語で述べられるようになることをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	一回の授業で一課進む。 前半はリーディング中心の授業で、既習文法を再確認しながら英文を正確に読む。 後半はライティング中心の授業で、各課で再確認した文法や新出単語を用い、英文を作成する。		
授業到達目標	授業で取り上げた各課の内容について、何が問題で、どのような解決策が考えられるか等、自分自身の意見を述べられるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方・諸注意 What the World Needs Now	
	2	Young People Making a Difference	
	3	The Horns of a Dilemma	
	4	Of Nukes and Minefields	
	5	The World's Hottest Issue	
	6	Smart Roads and Cars	
	7	Languages Lost and Found	
	8	It's About Time	
	9	Where Would We Be Without It?	
	10	Virtually Better	
	11	It's Never Too Late	
	12	Good Sports	
	13	G-TELP	
	14	Global Concepts 1: People	
	15	Global Concepts 2: Places	

	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Global Concepts (南雲堂) ¥1,995
成績評価の方法・基準等	定期試験60% 授業への積極的な取り組み(発表・課題等)40% ←を80%換算したものとG-TELPの結果20%
受講要件(履修条件)	授業中、発表してもらるので、予習をしっかりとした上で授業に臨むこと。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金3																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590009025	科目番号	05900090																				
授業科目名	●総合英語 I (T9)																						
編集担当教員	ローン 悦子																						
授業担当教員名(科目責任者)	ローン 悦子																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ローン 悦子																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]302																						
対象学生(クラス等)	T9																						
担当教員Eメールアドレス	etsukolawn@hotmail.com																						
担当教員研究室	非常勤講師控室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスマワー	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます																						
授業のねらい	本授業では、これまでに修得した英語の読む、書く、聞く、話す、の4技能の力を総合的に伸ばし、運用能力をさらに高めることを目標とします。特に、日本人学習者が苦手とする音声言語によるコミュニケーション能力の向上を目指します。																						
授業方法(学習指導法)	授業では、基礎的なコミュニケーションに役に立つようなフレーズを指定されたテキストを使い学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにauthenticな教材、洋画を使用し(DVD視聴)、Readers' theaterなどの活動を通してペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。																						
授業到達目標	授業を通して、日本語と英語の発想の違い、種々のリーディングスキル、リスニングストラテジーを理解、習得することによって、学習した語彙、表現を使って基礎的なコミュニケーションができるようになること、また洋画を英語(音声、字幕)でより理解できるようにすることを目標とします。																						
授業内容	<p>授業では、コミュニケーションに役に立つような基礎的なフレーズを指定されたテキストを使い学習していきます(テキストは、全12課からなっていますが、授業の進み具合で調節しながら進めていきます)。特に実用的なコミュニケーション能力をより向上させるために、授業を通して、種々のリーディングスキル、リスニングストラテジーを学習しながら、受講生には回答の機会を出来る限り設け、ペアワーク、グループワークを通して学んだ表現の定着を図ります。テキスト中の基礎的な構文は、自然に口からついて出てくる程度にするために、付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい(特にスピーキングとリスニング力アップのために、各自音読、リピーティング、オーバーラッピング、シャドーイング、ディクテーション等の練習に力を入れて下さい)。DVDの視聴、補助教材も適宜使用し、Readers' theaterなどの活動を通して、発音、間、イントネーションの練習もしていきます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月6日 オリエンテーション 授業の進め方 Self-introduction</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月13日 Getting to know each other スキルの概要説明 DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月20日 Getting to know each other Talking about pastime</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4月27日 Talking about pastime Readers' theater の練習方法の説明</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月11日 Readers' theater</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5月18日 Invitation and appointments</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5月25日 Invitation and appointments Readers' theater</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6月1日 Comparative cultures</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6月8日 Comparative cultures</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月6日 オリエンテーション 授業の進め方 Self-introduction	2	4月13日 Getting to know each other スキルの概要説明 DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)	3	4月20日 Getting to know each other Talking about pastime	4	4月27日 Talking about pastime Readers' theater の練習方法の説明	5	5月11日 Readers' theater	6	5月18日 Invitation and appointments	7	5月25日 Invitation and appointments Readers' theater	8	6月1日 Comparative cultures	9	6月8日 Comparative cultures
回	内容																						
1	4月6日 オリエンテーション 授業の進め方 Self-introduction																						
2	4月13日 Getting to know each other スキルの概要説明 DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)																						
3	4月20日 Getting to know each other Talking about pastime																						
4	4月27日 Talking about pastime Readers' theater の練習方法の説明																						
5	5月11日 Readers' theater																						
6	5月18日 Invitation and appointments																						
7	5月25日 Invitation and appointments Readers' theater																						
8	6月1日 Comparative cultures																						
9	6月8日 Comparative cultures																						

	10	6月15日 Group work for the presentation
	11	6月22日 Presentaton
	12	6月29日 Permission and suggestions
	13	7月6日 G-TELPテスト
	14	7月13日 Permission and suggestions
	15	7月20日 Review
	16	7月27日 定期試験 ※授業の進み具合で、上記の進度、内容設定を変更する場合があります。
キーワード	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション	
教科書・教材・参考書	教科書としてTadashi Shinozawa Gregory A. King 著 『New Activator』金星堂 を使用します。第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。	
成績評価の方法・基準等	定期試験35%、G-TELP20%、授業中の発表、小テスト、課題、プレゼンテーション35%、積極的な授業への参加10%を総合的に判断します。	
受講要件(履修条件)	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参、また毎回授業に出席すること(時間厳守)。 学習した内容は、きちんと復習すること!	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎能力を身につけるストラテジーを習得し、日本人学習者の苦手な音声言語コミュニケーション能力の向上を目指す。	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	共通英語学力テストG-TELPは、今期は13回目に行われます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明がありますので指示に従って下さい。また、掲示も行いますので、よく注意しておいて下さい。 各自テキスト付属のCD等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1361秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	金3																
開講期間																			
必修選択	必	単位数	1.0																
時間割コード	20120590009027	科目番号	05900090																
授業科目名	●総合英語 I (T8)																		
編集担当教員	宇佐美 康子																		
授業担当教員名(科目責任者)	宇佐美 康子																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	宇佐美 康子																		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																
教室	[全]301																		
対象学生(クラス等)	T8																		
担当教員Eメールアドレス	usamikan@fsinet.or.jp																		
担当教員研究室	非常勤講師室																		
担当教員TEL																			
担当教員オフィスアワー																			
授業のねらい	クラスでは毎回、AP通信やロイター通信等の英字新聞から選ばれた、健康や食品を取り上げている120語から300語程度の記事を読みます。基本的な文法項目を確認しつつ語彙力を強化し、リーディングスキルを養成します。その応用として英作文も行い、リスニングや音読の訓練により音声面での強化も行います。																		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストは、その場で読んでもらい大意を取る練習をするとともに、細かな部分は家庭で精読してきてもらいます。指定された範囲を、付属のCDも用いて音読の練習をすることを含めて、きちんと予習してきてください。また適宜、授業中にプリントを配付し、リスニング、音読、リーディングの能力の充実に図ります。																		
授業到達目標	テキストの英語を辞書なしで、また英語の自然な速さの音で聞いて、意味がとれるようにします。語彙レベルでは、テキスト中の単語でよく使われそうなものについて確実に意味がわかるようにし、文法レベルでは読む上で大切な要点を修得します。音声面では、発音で英語の音に少しでも近づき、さらに英語のリズムと速さで音読できるようにします。																		
授業内容	<p>授業の最初は、英語構文あるいは英作文、さらに英単語の小テストを行います。テスト範囲は、毎回テキストから指定します。成績の約20%は、この小テストで評価されます。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を、テキストについているCDを使いながら必ず家庭で予習して授業に参加してください。この授業では、音読の練習も行います。各英単語の音を確かめるだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度のもたまった量のある程度の速さで読むためには大切です。手を抜かずに努力して下さい。次に、家庭でしてきた精読の確認を行い、文法確認や英作文などを行います。また、次週に勉強する分を用いて、制限時間内で読んで大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。</p> <p>適宜プリント教材を用いて、リスニング、音読、リーディングの練習をします。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Unit 1. Singapore' s Love Potion Heads to Markets Overseas</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 2. WHO: Bird Flu May Have Passed Between Siblings</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Unit 3. Foreign Staff Get OK for Emergerncy Training</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Unit 4. Study: Two Languaes Help to Keep the Mind Young</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Unit 5. Expers Will Feed Infected Brains to Cows</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Unit 6. New Alcohol-flavored Biscuits Not to Everyone' s Taste</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Unit 7. Study: Tea Drinking May Protect Against Alzheimer' s Disease</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	Unit 1. Singapore' s Love Potion Heads to Markets Overseas	2	Unit 2. WHO: Bird Flu May Have Passed Between Siblings	3	Unit 3. Foreign Staff Get OK for Emergerncy Training	4	Unit 4. Study: Two Languaes Help to Keep the Mind Young	5	Unit 5. Expers Will Feed Infected Brains to Cows	6	Unit 6. New Alcohol-flavored Biscuits Not to Everyone' s Taste	7	Unit 7. Study: Tea Drinking May Protect Against Alzheimer' s Disease
回	内容																		
1	Unit 1. Singapore' s Love Potion Heads to Markets Overseas																		
2	Unit 2. WHO: Bird Flu May Have Passed Between Siblings																		
3	Unit 3. Foreign Staff Get OK for Emergerncy Training																		
4	Unit 4. Study: Two Languaes Help to Keep the Mind Young																		
5	Unit 5. Expers Will Feed Infected Brains to Cows																		
6	Unit 6. New Alcohol-flavored Biscuits Not to Everyone' s Taste																		
7	Unit 7. Study: Tea Drinking May Protect Against Alzheimer' s Disease																		

	8	Unit 8. Study: Melatonin May Help Lower High Blood Pressure
	9	Unit 9. Fat Kids Singled Out for Extra Exercise
	10	Unit 10. Study: Air Worse in Smoky Bars Than on Truck-choked Roads
	11	Unit 11. Researchers: Church Candles and Incense Pose Health Risks
	12	Unit 12. Fitness: How Much Water Is Enough During Exercise?
	13	G-TELP テスト
	14	Unit 13. Woman Listed as World's Oldest Person Dies in Puerto Rico at 114
	15	Unit 14. Fitness: Losing the Baby Fat with Fitness Classes
	16	(2012年8月3日) 定期試験
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): Readings from Health and Nutrition News(金星堂) (CD付) 1,850円。 プリント: 適宜配付。	
成績評価の方法・基準等	定期試験約60%、G-TELP20%、毎回の小テストを含む平常点約20%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則です。教科書も必ず購入してください。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	第1回目からすぐに授業に入ります。テキストを購入して、予習をしてきて下さい。	







タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009036	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (M1)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	M1		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。		
授業内容	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	4月6日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	4月13日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1)	
	3	4月20日 第3回 Voice Aerobics、医者と患者の会話(2)	
	4	4月27日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3)	
	5	5月11日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4)	
	6	5月18日 第6回 弱く発音される音、医者と患者の会話(5)	
	7	5月25日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、	
	8	6月1日 第8回 聞こえなくなる音、医者と患者の会話(5)、速読(2)	
	6月8日		

	9	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 医者と患者の会話(6)
	10	6月15日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
	11	6月22日 第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7), 速読(4)
	12	6月29日 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3)
	13	7月6日 G-TELPテスト
	14	7月13日 第13回 つながる音, 医者と患者の会話(8), 速読(5)
	15	7月20日 第14回 医者と患者の会話(9), 速読(6) まとめ Retellingとsummarizing, semantic mapを用いた学習
	16	
キーワード	医学英語、音変化、速読	
教科書・教材・参考書	Medical English Clinic (センテージ)、及びプリント教材。	
成績評価の方法・基準等	評価はあ、G-TELP(20%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。また、小テストに加えて、医学英語を題材にshadowingの効果を見るテストを2回実施する。	
受講要件(履修条件)	毎回、復習を行うこと。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。	
学習・教育目標	基礎的医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System

メニューへ  
MENUログアウト  
LOGOUT

シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1796秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009007	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (K2)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]403		
対象学生(クラス等)	環境(K2)		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	Emailにより受け付ける		
授業のねらい	テキストを用いながらリーディング力を培う。具体的には、トピックセンテンスを中心としたパラグラフ・リーディングと語彙や文構造に着目する精読の二通りのリーディング力を育成する。また、基礎的なリスニング力を養成する。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、自然なスピードで短い会話文を聞き、質問に回答するリスニングテストを行う。後半では、テキストを要約あるいは精読するが、前もって学生を指名しておき発表してもらい、その後、質問等によりリーディングの指導を行う。		
授業到達目標	リーディングでは、目的や場面に応じて、速読と精読を使い分けることができるようになる。リスニングでは、基礎的なリスニング力と基本的な表現を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction (Sample Test)	
	2	Chapter 1 Knowledge is Power, But Whose?	
	3	Chapter 2 The Magic of Harry Potter	
	4	Chapter 3 The Fast-Food Revolution	
	5	Chapter 4 Beauty is in the Eye of the Beholder	
	6	Chapter 5 One World, One Language?	
	7	Chapter 6 A Gray Future?	
	8	Chapter 7 'Til Death Us Do Apart? Marriage and Divorce in the 21st Century	
	9	Chapter 8 The Pursuit of Happiness	
	10	Chapter 9 The World Through Rose-tinted Glasses	
	11	Chapter 10 ... And the Slow-Food Rebellion	
	12	Chapter 11 The War for Talent	
	13	G-TELP	
	14	Chapter 12 China and India--the Future of the World?	
	15	まとめ	
16	定期試験		

キーワード	reading, academic writing, knowledge, information
教科書・教材・参考書	John Barton, Anthony Sellick, 島村法夫, 星久美子 Knowledge is Power, 松柏社, 1800円(税込)
成績評価の方法・基準等	リスニングテストの平均点(20%)、G-TELP(20%)、授業時の発表(10%)、定期試験(50%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	基礎的なリーディング力及びリスニング力を養う。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に臨むこと。



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009026	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (M6)		
編集担当教員	ローン 悦子		
授業担当教員名(科目責任者)	ローン 悦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ローン 悦子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	M6		
担当教員Eメールアドレス	etsukolawn@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます		
授業のねらい	本授業では、これまでに修得した英語の読む、書く、聞く、話す、の4技能の力を総合的に伸ばし、基礎的な英語運用能力をさらに高めることを目標とします。特に、日本人学習者が苦手とする音声言語によるコミュニケーション能力の向上を目指します。		
授業方法(学習指導法)	授業では、テキストをベースに英語の4技能の力をバランスよく伸ばす練習をします。また、新しい語彙、表現力を増やすためにauthenticな教材、洋画を使用し(DVD視聴)、Readers' theaterなどの活動を通してペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。		
授業到達目標	授業を通して、日本語と英語の発想の違い、種々のリーディングスキル、リスニングストラテジーを理解、習得することによって、学習した語彙、表現を使って基礎的なコミュニケーションができるようになること、また洋画を英語(音声、字幕)でより理解できるようにすることを目標とします。		
授業内容	授業では、テキストの内容に沿って4技能をバランスよく練習していきます。特に実用的なコミュニケーション能力をより向上させるために、授業を通して、種々のリーディングスキル、リスニングストラテジーを学習しながら、受講生には回答の機会を出来る限り設け、ペアワーク、グループワークを通して学んだ表現の定着を図ります。テキスト中の基礎的な構文は、自然に口から出てくる程度にするために、付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい(特にスピーキングとリスニングカアップのために、各自音読、リピーティング、オーバーラッピング、シャドーイング、ディクテーション等の練習に力を入れて下さい)。DVDの視聴、補助教材も適宜使用し、Readers' theaterなどの活動を通して、発音、間、イントネーションの練習もしていきます。		
	回	内容	
	1	4月6日 オリエンテーション 授業の進め方 Self-introduction	
	2	4月13日 On-campus facilities スキルの概要説明 DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)	
	3	4月20日 On-campus facilities	
	4	4月27日 Readers' theater の練習方法の説明	
	5	5月11日 Classroom expectations	
	6	5月18日 Classroom expectations	
	7	5月25日 Readers' theater	
	8	6月1日 Roommates wanted	
	9	6月8日 Roommates wanted	
10	6月15日 Group work for the presentation		

	11	6月22日 Presentaton
	12	6月29日 Tutoring
	13	7月6日 G-TELPテスト
	14	7月13日 Tutoring
	15	7月20日 Review
	16	7月27日 定期試験 ※授業の進み具合で、上記の進度、内容設定を変更する場合があります。
キーワード	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション	
教科書・教材・参考書	教科書としてToshiaki Nishihara/ Mayumi Nishihara/ Amy Mukamuri著 『Cultural Encounters』センゲージラーニングを使用します。第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。	
成績評価の方法・基準等	定期試験35%、G-TELP20%、授業中の発表、小テスト、課題、プレゼンテーション35%、積極的な授業への参加10%を総合的に判断します。	
受講要件(履修条件)	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参、また毎回授業に出席すること(時間厳守)。 学習した内容は、きちんと復習すること!	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎能力を身につけるストラテジーを習得し、日本人学習者の苦手な音声言語コミュニケーション能力の向上を目指す。	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	共通英語学カテストG-TELPは、今期は13回目に行われます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明がありますので指示に従って下さい。また、掲示も行いますので、よく注意しておいて下さい。 各自テキスト付属のCD等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。	





タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009030	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (K1)		
編集担当教員	松田 雅子		
授業担当教員名(科目責任者)	松田 雅子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松田 雅子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	環境科学部1年生 K1		
担当教員Eメールアドレス	mmatsuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部404		
担当教員TEL	819-2740		
担当教員オフィスアワー	月曜日16:00-17:00		
授業のねらい	(1)英語のスピーキング力、リスニング力、読解力をつける (2)英語でコメントし、自分の意見を言えるようになる		
授業方法(学習指導法)	ビデオ視聴、リスニング、リピーティング、スピーキング、ペアワーク、レコーディング		
授業到達目標	英語でのスピーキング力をつける		
授業内容	<p>① 日本語は音節が約100、英語は約3000である。英語を話すことができるようになるためには実際に口を動かして、英語の発音の型を学ぶ必要がある。基本的な英語の文型を吹き込んだCDを何度も聞き、声を出して練習する。ICレコーダーに録音し、学習の記録をとる。</p> <p>② 英語の映画を見たり、簡単な英語教材を読み、英語で内容をまとめ、意見を発表する</p> <p>③ いろいろなトピックについて、ペア、あるいはグループで英語で話す</p> <p>④ 英語のスピーキングテスト(30分)の準備を行う。絵を見て説明したり、4コマ漫画を見てストーリーを作ったり、2つの物の長所短所を比較したり、道を教えるなどである。</p> <p>⑤ G-TELP筆記試験(学生用資格試験)を受ける</p> <p>第1回 オリエンテーション 1課—4課 第2回 5課—8課 第3回 9課—12課 第4回 13課—16課 第5回 17課—20課 第6回 21課—24課 第7回 25課—28課 第8回 29課—32課 第9回 33課—36課 第10回 37課—40課 第11回 41課—44課 第12回 スピーキングテスト 第13回 G-TELPテスト 第14回 45課—48課 第15回 49課—50課 第16回 テスト</p>		
キーワード	英語のスピーキング力、レコーディング		
	英会話なるほど練習帳(アルク、2001)		

教科書・教材・参考書	副教材: Just Like a Movie(ケンブリッジ)
成績評価の方法・基準等	○定期試験 50%、G-TELP筆記試験 20%、スピーキングテスト10%、宿題20%
受講要件(履修条件)	積極的に学習に取り組む人。レコーディングを毎日やる人。
本科目の位置づけ	スピーキング力の養成は英語学習の基礎である。
学習・教育目標	スピーキング力とコミュニケーション力をつける
備考(URL)	
備考(準備学習等)	レコーディング、DVD視聴、副教材を読むなどの家庭学習をしっかりとやる。



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.





## シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_総合英語 I**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590009031	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語 I (M5)		
編集担当教員	池田 俊也		
授業担当教員名(科目責任者)	池田 俊也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	池田 俊也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]124		
対象学生(クラス等)	M5		
担当教員Eメールアドレス	t-iked@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館6階(621号室)		
担当教員TEL	821-2092		
担当教員オフィスアワー	在室時随時		
授業のねらい	①大学入学時までに習得した、総合的な英語力をさらに伸ばすこと。とりわけ、「読み」「書き」「聞き」「話す」という4つのスキルのうち、「読解力」「聴解力」に重点を置く。 ②「読解力」指導については、内容に応じて、音読及びボトムアップ、トップダウン的読解方法の実践指導を行う。 ③「聴解力」指導については、毎回行う小テストによって総力向上を図り、同時にコールシステムの積極的な活用を喚起する。		
授業方法(学習指導法)	①「パラグラフ・リーディング」の養成を主眼とするテキストを使用し、ラピッド・リーディングの訓練を行う。内容的には医学・医療英語を総合的に扱ったものであり、確実な理解がなされているかを練習問題を通して確認する。要点説明は各自にやらせてもらう。 ②あわせて、リスニングではこれまでに修得した聴解力をさらに伸ばすために、TOEIC Test に準じた問題集で毎時間小テストを実施する。		
授業到達目標	①要点を的確につかみ取る英語読解力と基本的な英語聴解力を身につけること。 ②TOEIC Test で600点以上の高得点を取れるような日常的な努力を目指し、コールシステムなどの機材を活用する積極性を持つこと。		
	16回目 7月29日 定期試験		
	回	内容	
	1	以下のおおまかな順番で授業を進める。①はReading 教材の内容、②は聴解教材のトピック。日付横の語句は当日のスキル目標である。 4月6日:授業概要(テキストを通じた授業内容の説明) 読解 ①Basic for Health Care Professionals 聴解 ②Drill 1	
	2	4月13日:Phrase Reading の実際 読解 ①Experts say economy class can kill 聴解 ②Drill 2	
	3	4月20日:Words per Minute とは? 速読の方法 読解 ①The added cost of convenience 聴解 ②Drill 3	
	4	4月27日:Topic sentence と Main idea 読解 ①The risks of smoking 聴解 ②Drill 4	
		5月11日:Passage の中の Topic Paragraph	

授業内容	5	読解 聴解	①The Urinary System ②Drill 5	
	6	読解 聴解	5月18日: Scanning の方法 ①Cleanliness obsession unhealthy ②Drill 6	
	7	読解 聴解	5月25日: 各種テストでの Scanning 利用 ①Technostress ②Drill 7	
	8	読解 聴解	6月1日: Skimming の方法 ①The Immune System ②Drill 8	
	9	読解 聴解	6月8日: Paragraph Reading と Skimming ①Nature's healing powers ②Drill 9	
	10	読解 聴解	6月15日: 未知語との遭遇(語彙の類推) ①Who needs meat? ②Drill 10	
	11	読解 聴解	6月22日: テキストの展開(Time Order)について ①Cancer Detection ②Drill 11	
	12	読解 聴解	6月29日: テキストの展開(Cause and Effect)について ①Laughter prescription for good health ②Drill 12	
	13		7月6日: G-Telp テスト	
	14	読解 聴解	7月13日: テキストの構造 ①Ever-growing life span ②Drill 13	
	15	読解 聴解	7月20日: Fact と Opinion の判別 ①Prevention of "akibate" ②Drill 14	
	16		定期試験: 形式については授業時に説明	
	キーワード			
	教科書・教材・参考書	①椋平淳 他, Curing the Future, 成美堂 ②D.E.Bramley et.all, New Steps to Success in the TOEIC Test Listening, Workbook 2, 松柏社		
	成績評価の方法・基準等	期末筆記試験及び小テストの結果(80%)とG-Telp Test(20%)など総合的に評価する。		
	受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ				
学習・教育目標				
備考(URL)				
備考(準備学習等)				

